



褥瘡ができてしまった時の処置について

褥瘡発生直後はしばらく様子を見ないと、どの深さまで損傷が及んでいるか分かりにくい事があります。中には一見軽傷にみえても、深い褥瘡へと変化するDTI(deep tissue injury)である場合もあります。

褥瘡発生直後は、このような創の変化を見逃さないように、適切な除圧を行いつつ、観察を頻回に行う必要があります。被覆材を貼る場合は毎日観察が可能な被覆材を選択しましょう。



ポリウレタンフィルム

【効果】

- 創を視認できる
- 外部からの汚染を防ぐ
- 発赤部位をずれや摩擦から保護する

創の変化に合わせて処置を変えていきます

認定看護師フェアを開催します！

【10月26日】

外来患者および来訪者の皆様へ

☆展示・相談コーナー9:00～15:00

歯磨き・義歯相談、正しく血圧を測ろう、
がん相談コーナー、禁煙相談、AED体験、
手洗いとマスクの正しい使用方法、
脳卒中に関する相談コーナー

院外の医療従事者の皆様へ

☆認定看護師講演会18:00～19:30

【テーマ】誤嚥性肺炎を予防しよう
～誤嚥性肺炎の基礎知識の理解
安全に食事摂取ができる～